

高齢者がいきいきと運動会を楽しむ



三好市高齢者体育大会が11月17日、池田総合体育館で開催されました。この運動会は、三好市老人クラブ連合会主催によるもので、今回が4回目となります。

福祉施設や旧町村ごとに別れた8チームの約500人は、ボールを渡していく「ボール送り」や、魚のぬいぐるみをつる「魚つりレース」など11種目を楽しみました。怪我もなく、気持ち良い汗を流し、「来年も参加するのが楽しみ」という参加者の元気な声を残して終了しました。

安心して暮らせる支えあいのまちづくり



池田総合体育館で11月8日、第4回三好市社会福祉大会・ふれあい広場が開催されました。式典では、地域福祉活動に貢献のあった29人と5団体に対して表彰が行われ、会場からは、功労を称える大きな拍手が送られました。

このほか、各団体による展示やバザー、徳島県警察音楽隊の演奏やニュース番組などに出演されている辛坊治郎さんの「ニュースの裏を読む」と題された記念講演が行われ、たくさんの方の来場者でにぎわいました。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課
☎0883-72-7646

魅力あふれる妖怪たちが勢揃い



山城町の藤の里公園において、11月22日に第9回妖怪まつりが行われ、市内外から家族連れやカメラマンなど約500人が来場しました。この日は、20体の妖怪がほら貝の音色にあわせて登場したほか、妖怪バンドの演奏や手作り妖怪コンテストなども行われました。

また、鳥取県境港市の第1回妖怪そっくりコンテストで優勝した「リアル子泣き爺 こなきG」さんが登場して妖怪にちなんだクイズが行われ、会場は大変盛り上がりしました。

スポーツと文化で賑わい



第28回なでしこまつりが11月7日と8日に、辻小学校周辺にて開催され、まつりでは毎年恒例の各種作品の展示や発表会、サッカーやバレーなどのスポーツ大会、各種バザーや体験コーナーなど、文化的なものからスポーツ大会まで様々な行事が目白押しでした。

同時開催の井川文化まつりでは、井川町で高校教諭などをしながら日本画を描き続けた、藤本友安氏(1903～1957年)を紹介する企画展も開催されました。

落合地区を語り合う



東祖谷にある落合重要伝統的建造物群保存地区の研究集会在11月4日から6日までの3日間、保存地区など市内で行われ、全国から有識者らが集まりました。

夕暮れの地区を鑑賞したり、保存地区の散策、地元の方らとの交流会、またフォーラムの形式で研究集会が行われました。参加者らは皆さんが口を揃えて、「山裾から山の上まで住居があり、昔から今日まで維持できているのが素晴らしい」とおっしゃっていました。

スポーツを体験して交流



今年で9回目となる、いろいろなスポーツを体験して楽しむ、みよしスポーツフェスタが11月1日に池田総合体育館で開催されました。また今年は徳島県主催のファミスポSHOW デーカーニバルも同時開催で、すだちくんも来場し、一緒に体を動かしました。

フライングディスクや囲碁ボールなどのほか、医師による健康相談や、健康づくりについてのフォーラムなどが行われ、多くの方がスポーツや交流を楽しみました。

大和小と川崎小が合同で



山城町の大和小学校において11月1日、第17回まほろば祭が開催されました。このお祭りは地区の恒例行事で、地区住民と学校やPTAなどが一緒になって開催している、華やかなお祭りです。

大和小学校と川崎小学校の児童が合同で踊ったソーラン節や、四国大学沖縄県人会による沖縄舞踊のエイサー、山城中吹奏楽部の演奏などが披露されました。他にもお楽しみ抽選会、もち投げにバザーなどが行われました。

芋炊きで体もぽっかぽか



銅山川(伊予川)の秋の催しとして定着している伊予川芋煮会が、11月1日に山城町の恵泉館で行われました。芋炊きとは皮を取った里芋を大きな釜で煮込んで食べるもので、この日用意された芋炊きには、里芋をはじめ前日から準備された地元の野菜など12種類もの食材が入っていました。

あいにくの雨でしたが、来場者は大鍋に用意された芋炊きに舌鼓を打ち体を温めました。会場では、焼きそばや焼き鳥、手作り団子など各種バザーも行われにぎわいました。

今年も市民文化祭はじまる



三好市民文化祭が11月1日に始まり、その開会式が池田中学校で開催されました。

式では文化公演として、和泉流狂言師の山下浩一郎さんら3人が「盆山」「梟山伏」を上演しました。狂言は笑いの演芸として600年前から変わらず現代に残っており、世界で最も古い演芸として注目されています。上演前には、山下さんが狂言のルールなどを説明し、集まった中学生や一般客らはこっけいなやりとりで大笑いしていました。

育児に奮闘中の デュオによるコンサート



子育てと音楽活動に奮闘中のママさんデュオ「草鞋」を迎え、12月2日に子育て支援センターでコンサートを開催しました。たくさんの親子連れが参加し、クリスマスソングや、ママさんたちに贈る応援歌「嗚呼～ママゴン」など8曲を演奏していただきました。

子どもたちはギターなどの演奏に体中で喜びを表し、はしゃいでいました。お母さんたちも、日頃の子育ての疲れを癒していただけたようで、とても楽しいひと時を過ごすことができましたようです。

いちよりの木の下で 賑わったお天王はん市



三野町の武大神社で毎年恒例の、お天王はん市（みの商工祭）が11月29日に開催されました。天候も良く、色づいた大きないちよりの木の下は出店で賑わい、たくさんの方が来場しました。

会場では大平の獅子舞が披露されたり、赤ちゃん土俵入りが行われました。小さな化粧回しをつけ、力士に抱えられて土俵入りすると泣き出す赤ちゃんもおり、ほほえましい様子を写真に撮ろうとたくさんカメラマンがシャッターを切っていました。

音楽を楽しもう



池田総合体育館で11月15日、上野の森プラスコンサートが行われました。この日のプログラムは、音楽で世界を旅するようにヨーロッパやアフリカ、日本など各国の音楽が演奏された第1部と、アニメ作品の曲や映画音楽などが演奏された第2部とで構成されており、幅広い世代の方が楽しめたコンサートとなりました。

アンコールでは、舞台から客席にメンバーが下りてきて、観客のすぐ近くで演奏する場面もあり、会場からは大きな手拍子がおこりました。

私たちが作りました



三好高校第14回楓祭が11月12日に開催され、三好高校の生徒たちが育てた白菜、キャベツなどの農産品や、ジャム、パウンドケーキ、プロイラー燻製などの加工品、果物や花苗などさまざまな商品が販売されました。会場は、お目当ての品を求めてたくさんの方でにぎわい、売り場の前に行列ができていたところもありました。また、同窓会による農産品などの販売、発動機展や徳島工業短大展など各種展示もあり盛大なお祭りとなりました。

永年の貢献を表彰



長い間勤務され、事業所の業績発展に貢献された方々を表彰する、三好市優良従業員表彰式が11月11日に池田総合体育館で行われました。

三好市と阿波池田商工会議所、三好市商工会が主催したもので、この日は市内の11事業者20名が表彰を受けられ、15名が出席しました。俵市長らからお祝いの言葉とともに挨拶があった後、出席された方一人ひとりに表彰状と記念品が贈られました。受賞された皆様おめでとうございます。

寒い冬に温かい光



三好市のウインターシーズン到来を告げる風物詩「池田冬のオブジェ」が、12月1日より今年も開催されました。この日は、JR阿波池田駅前のへそっ子公園でオープニング式典が行われ、アマチュアバンド、池田中ブラスバンド演奏や、三好市第九合唱団の合唱などが行われました。

周辺が暗くなる頃、地元保育園児による愛らしい夢来^{ゆめらいと}人宣言がされ、カウントダウンの合図でイルミネーションがいつせいに光をはなつと、公園内に歓声が響き渡りました。

孤立を想定した防災訓練



孤立を想定した防災訓練が、11月25日にかずら橋イベント広場をメイン会場にして行われました。

今回は、西祖谷と東祖谷地区で震度6を記録し、土砂災害により幹線道路が複数箇所で行き止まりになり地区全体が孤立したとの想定で行われました。孤立化を想定した訓練ということで、これまでの避難や救急救命の訓練だけではなく、それに加え携帯電話による災害用伝言版の使い方など、情報伝達に力を入れた訓練となりました。

秋の実りに感謝



道の駅三野で秋の収穫祭が、11月15日に催されました。会場では、直売所で商品を購入した方を対象に新米や農産物が当たる福引きや、豚汁、お好み焼きなどの振る舞いがあり、生産者らがいつもの感謝の気持ちを込めてサービスをしていました。

この日は、県の移動ブランドショップ「新鮮なっ！とくしま号」もかけつけ、地元野菜のてんぷらやジャムの試食、アンケート参加者へのゆず配布なども行われました。来場者は実りの秋を楽しんでいました。

語り伝え 唄い繋ぐ 日本の心情



歌と人形浄瑠璃、能による即興劇「あしたのために」と、能と人形浄瑠璃が融合した劇「きりしとほろ小人伝」が11月28日と29日の2日間公演で、池田総合体育館において行われました。

「あしたのために」では、歌手のUAさんの歌声と三味線や打楽器が響きわたり、同時に三好市出身の人形遣い吉田勘緑さんが操る木偶と能役者が舞いました。ステージの美術や鮮やかな照明も幻想的で美しい舞台を作りだし、来場者は魅了されました。

今年もスキーの季節が やって来ました



井川スキー場腕山が四国内にあるスキー場のトップをきって、11月20日にナイターオープンしました。

オープン日はリフトが無料開放されるということで、誰よりも早く滑ろうと早い時間から来場した多くのスキーヤーやスノーボーダーら約600人が、久しぶりの雪の感触を確かめていました。青や緑の照明のなか、カップルや家族連れらが幻想的な雰囲気のゲレンデを満喫していました。市内のプレイスポットにぜひ遊びに行ってみませんか。